

動物実験に関する検証結果報告書

酪農学園大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2020年3月

酪農学園大学  
学長 竹花 一成 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会  
理事長 浦野 徹



対象機関：酪農学園大学  
申請年月日：2019年7月16日  
訪問調査年月日：2019年12月5日  
調査員：下田耕治（慶應義塾大学）  
北田一博（北海道大学）

#### 検証の総評

学校法人酪農学園は1933年に北海道酪農義塾として開設され、その後、酪農学園大学が1960年に開学した。現在は大学に獣医学群と農食環境学群の2学群、大学院に獣医学研究科と酪農学研究科の2研究科を有する北海道有数の私立大学である。

「酪農学園大学動物実験規程」のもとで動物実験委員会を組織し、動物実験計画の審査、承認、結果報告、教育訓練、自己点検・評価、情報公開など、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」に則した動物実験が適正に実施されている。また、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」に則した飼養保管体制が整備されている。特に「酪農学園大学実験動物の飼養及び保管に関する基準」や「動物の安楽死に関する指針」を定め、いわゆる実験動物のみならず、教育・研究に供する畜産動物や野生動物も実験動物として適切に管理している点は高く評価できる。しかしながら、一部の施設では老朽化による空調設備の劣化等が見られることから、計画的な設備の保守や更新を検討されたい。また、ホームページ上での情報公開項目に不足が見られることから、さらなる充実を図られたい。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「酪農学園大学動物実験規程」およびその関連規則等が定められ、その内容は基本指針に則したものである。よって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

#### 2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「酪農学園大学動物実験委員会規程」に基づき、基本指針に適合する動物実験委員会が組織されている。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
4) 改善に向けた意見
「酪農学園大学動物実験委員会規程」における委員構成について、3種のカテゴリーの委員が確実に含まれるよう表現の明確化を検討されたい。

### 3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「酪農学園大学動物実験規程」に規定され、動物実験計画書、動物実験結果報告書等の書式が整備されている。さらに、「動物の安楽死に関する指針」や「酪農学園大学における動物実験について」も改正済みである。よって、動物実験の実施体制について、「動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、「基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。」とする。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

### 4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「酪農学園大学遺伝子組換え実験安全管理基準」「酪農学園大学病原体等安全管理規程」「酪農学園大学感染性廃棄物取扱規程」等が定められている。よって、安全管理を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

すべての実験動物飼養保管施設は飼養保管施設設置承認申請書を提出し、動物実験委員会による視察後、審査・承認され、実験動物管理者も任命されている。全学的な飼養保管マニュアルとして「酪農学園大学実験動物の飼養及び保管に関する基準」を定め、改正作業を行っている。また、個々の施設にも標準作業手順書（SOP）が定められている。よって、実験動物の飼養保管の体制について、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、「基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

「酪農学園大学実験動物の飼養及び保管に関する基準」（改正案）の承認手続きを速やかに進め、周知を図られたい。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

「酪農学園大学実験動物の飼養及び保管に関する基準」によって、いわゆる実験動物のみならず教育・研究に供する畜産動物や野生動物についても適正に管理している。

## Ⅱ. 実施状況

### 1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験委員会は2018年度には6回、2019年度は毎月開催され、動物実験計画の審査、動物実験結果の確認、自己点検・評価等、基本指針に定められた動物実験委員会の活動が適正に実施され、議事録等の記録類も保管されている。よって、動物実験委員会の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 議事録等に問題はないが、議論された事項をより詳細に記録するよう検討されたい。

### 2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 2018年度には71件の動物実験計画が審査・承認され、すべての計画において動物実験経過・結果報告書および動物実験の自己点検票が提出されている。動物実験計画の最大有効期間は5年であるが、毎年更新されている。よって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。</li></ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>安全管理を要する動物実験は適正に実施されており、2018 年度は事故等の報告はない。動物実験、遺伝子組換え実験、病原体等に係る安全委員会の委員長が毎年懇談会を開催して、情報の共有を図っている。よって、安全管理を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。</li></ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li></ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>全学的な「酪農学園大学実験動物の飼養及び保管に関する基準」および各飼養保管施設の標準作業手順書(SOP)にしたがい、家畜や野生動物を含む実験動物は適正に飼育管理されている。実験動物飼養保管状況の自己点検票も提出されている。マウス・ラットでは微生物モニタリングが実施されている。よって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li></ul>

4) 改善に向けた意見

マウス・ラットの飼育環境がオープンシステムであるため、動物の健康管理にはより一層留意されたい。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管施設は、基本指針や飼養保管基準等にしがたい維持管理されており、動物種に応じた飼育環境下で飼育されている。しかしながら、一部の施設では老朽化による設備等の劣化が見られる。よって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

施設の視察を定期的を実施し、問題点が見られた場合速やかに改善するとともに、空調設備の老朽化に関しては速やかに更新の計画を検討されたい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験委員会は、2018年度に学生を含む390名に対し教育訓練を実施している。有効期限は特に設けていないが、法改正時には再受講することとしている。実施記録も保存され、教育内容も適正である。一部の実験動物管理者は日本実験動物学会が主催する実験動物管理者等研修会を受講し、必要な情報収集を行っている。よって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。



3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

## 7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験委員会は自己点検・評価を実施し、その結果および規程類を大学ホームページで公開している。しかしながら、実験動物の飼養保管状況など、基本指針で例示する情報公開項目を満たしていない。よって、自己点検・評価、情報公開について、「基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。
3) 検証の結果
<input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
基本指針で例示する情報公開項目を満たされたい。あわせて公私立大学実験動物施設協議会が推奨する情報公開項目の全項目を公開することを検討されたい。また、本検証結果報告書も公開されたい。

## 8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

酪農実習に用いる家畜も実験動物としていることは望ましいが、学外での家畜からの検体採取（採血など）も動物実験と見なし、使用数に計上している。このため、実際の使用数と乖離が生じているため、学外での活動は別枠で計上するなど工夫されたい。
---